

令和6年度 第1年次 後期授業アンケート結果 分析表

現代の国語	難易度、進度、取り組み姿勢、グループ・ペア活動に関する生徒の評価は概ね良好で、適切であるとする結果が見られるが、科目への興味・関心、視野の広がりについても高い評価であり、現状肯定とも言える。より一層の工夫や仕掛けを心掛けたい。基礎力の育成や言語活動に対する意欲、言語獲得が世界観を構築するという意識づけを図りたい。
言語文化	集中して授業に取り組んでいる生徒が多く、難易度・進度をちょうど良いと感じている生徒の割合が高い。予習・復習が学習内容の理解や定着に重要であることを再度共有し、理解が深まるようにしていきたい。ペアワークに意欲や成果を感じる生徒が多く、引き続き授業に取り入れながら、文学への理解を深め、生徒の興味・関心が高まるよう授業内容を工夫したい。
地理総合	授業に集中して取り組むことや授業の難易度、授業進度に関して肯定的な回答が多い。また、授業に対する興味・関心も高く、授業内容にもっと触れてみたいと感じている生徒も比較的多い。今後は知識の定着のみにとどまらず、既有知識を使って課題解決にむけた協議・討論をするような授業にしていきたい。
歴史総合	多くの生徒が集中して授業に取り組んでおり、進度や授業の理解に関して肯定的な回答が多かった。授業の難易度に関しては、難しいと感じている回答が一定数見られる。授業内容や教材をさらに工夫し、グループ活動を取り入れるなどして、歴史への興味関心を喚起し、歴史の多面性を感じ理解が深まる授業に努めたい。
数学Ⅰ	多くの生徒が授業に集中しているが、内容が深まり、授業スピードも早くなったことに対して、やや苦手意識、理解不足が出ている可能性がある。ペアワークなどをできるだけ取り入れ、授業の内容への理解が深まるようにしていきたい。また、予習・復習に十分に取り組めていない生徒も見られるため、再度家庭における学習の重要性を共有し、予習・復習と学習の継続への取り組みに努めたい。
探究数学A	多くの生徒が授業に集中しているが、内容が深まり、やや苦手意識、理解不足が出ている可能性がある。ペアワークや探究活動などをできるだけ取り入れ、授業の内容への理解が深まるようにしていきたい。また、予習・復習に十分に取り組めていない生徒も見られるため、再度家庭における学習の重要性を共有し、予習・復習と学習の継続への取り組みに努めたい。
自然科学基礎	興味を持って授業に取り組んだり、自然科学について関心を持てるようになった生徒が多くいる。学習内容の難易度はあまり高くないが、難易度が高いと感じている生徒が一定数いる。学習内容を積極的に深める態度を育成するためにも、日常生活とのつながりを意識したり、生徒自身が考える場面を増やしたりなどの工夫をさらに考えていきたい。
体育	後期で男女共修の選択制授業を実施した。グループ学習等の意義・効果が感じられるような授業内容を工夫していく中で、班のメンバーと協力し、活発な生徒主体の取り組みができてきた。技能向上の楽しさを味わいながら、次年度へとつなげていきたい。
保健	多くの生徒が集中して取り組んでいるようである。難易度・進度は適度である。生徒の学習状況を考慮しながら授業を展開していきたい。グループ学習、調べ学習等を取り入れながら、生涯を通じて自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成したい。
音楽	音楽科においては、ワークシートによる振り返りや評価を行うために授業を組み立てる事は必須であるが、様々な領域の芸術にいかにも楽しく興味関心を持たせられるか、毎回の授業の中でいかに生徒が主体的な音楽活動を展開することができるか、がより大切である。そのためにも、グループ演習での個々の評価がより繊細かつ確実に得られるよう、一層の工夫をしていきたい。
美術	ほとんどの生徒が集中して取り組んでいる。実技教科であるため、進度の差があり、調整作業を行いながらそれぞれが意欲的に取り組めるよう個別目標を持たせながら進めている。ほんの一部の生徒で難しいと考える生徒がおり、どういう面で難しいと感じているのか分析して更なる工夫をしていきたい。
書道	多くの生徒が集中して取り組めており、難易度、進度は適度であると感じている生徒が多いが、今後、グループ学習を多く取り入れることを考えている。わかりやすく、興味深い授業ができるよう、探求していきたい。
英語コミュニケーションⅠ	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度とも適切であると感じている生徒が多く、積極的に英語学習に取り組んでいる生徒が多い。自立した学習スタイルを確立させるべく、予習・復習の習慣化を更に促すとともに、英語運用能力の向上を図る授業展開を目指したい。
論理・英語Ⅰ	多くの生徒が集中して取り組んでいる。授業への関心・意欲が高く、授業を肯定的に捉えている生徒の割合も高い。予習・復習の更なる徹底を促しながら、効果的な活動を更に検討していくとともに、発展的な内容にも取り組んでいきたい。
家庭基礎	多くの生徒が集中して授業に取り組んでおり、特に実習には興味関心が高い。学習した内容と実生活が結びつくような内容を効果的に取り入れる工夫をし、生活の課題解決を目指す実践的な態度や能力を育てたい。
情報Ⅰ	集中して取り組む生徒が多い反面、内容が難しいと感じている生徒も見られる。身の回りの様々な「情報」に関する題材と授業内容を関連させ、生徒の興味関心を高め、わかる喜びを多く持たせ、理解度を深めるような授業展開を目指したい。

令和6年度 第2年次 後期授業アンケート結果 分析表

論理国語	授業への取り組み状況は概ね良好で、ペアワーク・グループワークでの意見交流が授業の理解につながっており、生徒の満足度も高い。また、教科書以外の教材を取り入れるよう工夫した結果、生徒の視野を広げることができている。前期より授業の難しさを感じる生徒が若干増加しているのは、文章の難易度が上がったためだと思われる。より丁寧な指導を心掛けたい。
文学国語	論理国語と同様に授業への取り組み状況は概ね良好で、ペアワーク・グループワークでの意見交流が授業の理解につながっている。また、教科書以外の資料や教科横断的教材の活用、ゲストティーチャー授業の実施等は生徒の充実感につながっており、視野が広がり理解が深まったと答えている。引き続き、工夫していきたい。
古典探究	文章の背景や歴史、関連する雑学にも触れながら、暗記事項だけにならないよう配慮して生徒の興味・関心を引き出す工夫をしており、その効果が表れている。一方、予習や復習が不十分だという生徒が3割弱いる。授業の理解度にも影響すると思われるので、その日のうちの復習や基礎力・読解力定着の方策を具体的に示しながら、粘り強く指導したい。
日本史探究	大多数の生徒が授業の難易度・進度が適当であると前向きな回答をしてくれた。特に理系クラスでは単位数が少ない中で、授業の準備をきちんとおこなって要点を理解できていると感じる。単純な暗記に終始しないように、歴史的な事象から思考を深めていけるよう授業作りを工夫していきたい。
世界史探究	ほとんどの生徒が授業に集中して取り組み、授業も分かりやすいとの回答が多かった。授業の難易度、授業進度に関しては、難しい・速い・遅いと感じている回答も見られた。内容や提示の仕方を工夫し、丁寧な指導をしていきたい。引き続き、世界の諸問題を歴史的に考察できる視点や課題を提示し、生徒の興味関心を喚起する授業に取り組んでいきたい。
地理探究	2年生から始まる地理探究の授業は地形や気候などの自然環境の他、資源と産業、交通、貿易の分野が中心である。授業の難易度や進度といった基本的部分は概ね適切な状況にある。今後も授業内容やテストを改良していき、暗記だけに頼らない地理的な見方や考え方を養っていきたい。
公共	概ね例年通りの進捗状況であり、授業に集中している生徒の割合が高い結果である。単元ごとにペアワークやグループ活動で他者との意見を交わす場面を設定したり、自身で調べてきた情報を共有したりして、意欲が高まってきているように感じる。今後も継続していきたい。
数学Ⅱ	授業の進捗や難易度について肯定的な回答が多い。しかし、予習・復習への取り組みが不十分な生徒も多い。再度、家庭学習の重要性を共有しながら「学習の継続」を前提とした取り組みに努めたい。
探究数学B	多くの生徒が授業に集中しているが、内容が深まり、授業スピードも速くなったことに対して、やや苦手意識、理解不足がでている可能性がある。予習・復習に十分に組み合っていない生徒も見られるため、家庭における学習の重要性を共有し、予習・復習と学習の継続への取り組みに更に努めたい。
数理情報	多くの生徒が授業に集中しているが、週1時間の授業に対して学習する内容が多いため、やや苦手意識、理解不足が出ている可能性がある。興味や関心が高められるように丁寧な説明と、内容に適した教材開発に引き続き努めていきたい。
探究化学Ⅰ	授業に対する姿勢は前期に引き続き良好である。物質の性質や反応のしくみを理解することで、科目への興味や更に発展的な内容への関心が高まっていると感じた。実験では、ただ体験するだけではなく、思考力や判断力を養えるような工夫をしていきたい。
探究物理Ⅰ	日々の授業で身近な自然現象や科学技術との関連性に触れながら生徒の興味・関心を喚起するとともに、現象の理解を深めるために協働的な実験・観察を多数行っている。おおむね良好な結果であったと考えるが、一部で習熟度に差がみられるため、個別の対応をしていきたい。
探究生物Ⅰ	おおむね良好な結果であった。進捗との兼ね合いもあるが、今後も、実験・観察などの探究活動やグループワーク、発表の時間を設けることで理解を深められるような授業を実践していきたい。
探究自然科学Ⅰ 物理基礎	概ね良好な結果であった。今後も、身近な自然現象や科学技術との関連性に触れていくとともに、多くの実験・観察を行い、生徒の興味・関心を喚起する授業展開をしていきたい。また、少人数授業を活かして、学び合いや個に応じた対応もしていきたい。
探究自然科学Ⅰ 化学基礎	実験を取り入れながら反応の原理や物質の性質を整理することで、苦手な分野の理解にもつながると考えられる。基本事項の理解はできているが、思考力や表現力を磨く授業展開を考えていきたい。
探究自然科学Ⅰ 生物基礎	おおむね良好な結果であった。今後も、授業で考察やグループワーク、発表の時間を設けることで理解につなげていきたい。進捗も順調であり、今までの復習や演習も取り入れながら丁寧に学習を進めていきたい。
探究自然科学Ⅰ 地学基礎	学習への取り組みはおおむね良好であった。地学の学習内容に関心の高い生徒も少なくないが、グループ学習や実験を増やすなど、生徒の学習意欲がさらに増すように授業を工夫したい。
体育	前期の後半より選択制授業を実施し、班員と協力しながら行うグループ学習が充実したものとなっている。体力面では若干の課題はあるものの、学習に対する意欲、技能は向上しているようである。グループ学習等を効果的に行いながら、3年生の男女共修選択制授業に向けてのよい準備期間にしていきたい。
保健	大半の生徒が授業に集中して取り組めており、進捗・難易度についても適切である。単元の内容によっては、グループ学習等を積極的に取り入れながら、生涯を通じて自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成したい。
英語コミュニケーションⅡ	前期から継続して、多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進捗・難易度とも適切であると感じている生徒が多く、学習活動に非常に積極的である。英語運用能力の向上を図ろうと工夫して学習に励む姿が見られる。
論理・表現Ⅱ	前期から継続して、多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。授業への関心・意欲が高く、授業を肯定的に捉えている生徒の割合も高い。コミュニケーション活動に意欲的に取り組み、英語運用能力を更に高めようとする姿が見られる。予習・復習をしている生徒の割合が低い。
【選】 探究社会科学A	哲学・思想内容が難解だと感じている生徒もいるが、興味・関心をもって、難しい内容を理解していく手ごたえを感じている生徒も少なくない。今後は理解の定着にとどまらず、学んだことをもとにさまざまな問題を考え深めることにつながる授業に取り組みたい。
【選】 プログラミング実践	生徒は情報に関する理解が深まってきているようだが、今後はさらに興味関心を高めながら、様々な課題に対する対応力や実践力を身につけられるような展開を目指したい。

令和6年度 第3年次 後期授業アンケート結果 分析表

論理国語	授業への取り組みの状況は概ね良好であると認められるが、前期同様に授業の難しさを感じる生徒が理系に多く、4割を超えている。興味深く読みやすい文章をプリントにして補助的に使用するなど、より丁寧な指導が求められる。審査において考えさせる問題が多いと感じている生徒が前期より若干増加している。共通テストを意識して初見の文章を利用した思考力を問う設問を増やしたことがその要因だろう。
文学国語	難易度、進捗については概ね適切であると認められる。ただ後期はやや難易度の高い文章を扱ったこともあり、前期のような取り組みやすさが感じられなかったためか、論理国語と同じような集計結果になっている。ペアワークについては、前期同様その機会が多く持たれており、概ね学習に有効であると生徒は受けとめている。多様な生徒を念頭に置きつつ、よりよい活動の形を工夫していきたい。
古典探究	難易度、進捗については概ね適切であると認められる。授業に対する取り組み状況も良好で、特に文系生徒は「取り組んでいる」が75%にものぼっている。学習意識が高まったり理解できるようになったと回答している割合も7割近くあった。文法的なことの説明と理解、慣れるための反復練習、歴史的背景の把握など、様々な要素がバランス良く取り込まれた授業が求められている。
地理探究 発展地理	地誌的考察の学習を中心に展開した。全体としては積極的な学習姿勢がみられ、理解に結びつく学習内容と学習方法であったことを示すアンケート結果であった。一方、学習内容の深まりとともに理解度や関心の差が生まれている。今後工夫する点として、従来よりも実施単位数が減少していることから学習内容を精選して、理解が深まり、関心が高まるような授業展開の改善が挙げられる。
日本史探究 発展日本史	授業そのものについては概ね良好な回答を得たと考えているが、分かりやすいとの回答が多く、教材がかみ砕きやすいものばかりになっていないか、引き続き留意したい。ペアワークの機会は、進捗確保の観点からあまり実施できていないが、生徒の興味関心がさらに深まるようにできるだけ採り入れていきたい。一方で、多くが「このままでよい」とも回答しており、内容の深さと進捗の確保が前提の話でもある。
世界史探究 発展世界史	授業への取り組みや授業の難易度・わかりやすさなどについては概ね良好な回答であった。前期同様、理解や取り組みに困難を抱える回答も見られた。内容や提示の仕方を工夫し、丁寧な指導を行ってきたい。引き続き、歴史の多面性を感じ、歴史への理解が深まる授業に努めるとともに、世界の諸問題を歴史的に考察できる視点や課題を提示し深い学びへつなげるような授業に取り組んでいきたい。
数学Ⅲ	授業そのもの、授業に対しての取り組みは概ね良好な回答であり、SSHの取り組みや対話的な授業の成果か、興味関心が高まったという意見も増えている。今後も演習が増えてくるが、単純な解説ではなく、本質的な理解を促すとともに、ペアワークなども継続していくことで、様々な課題に主体的に取り組む姿をはぐくみ、深い学びにつなげていきたい。
探究数学C	授業そのもの、授業に対しての取り組みは概ね良好な回答であり、SSHの取り組みや対話的な授業の成果か、興味関心が高まったという意見も増えている。今後も演習が増えてくるが、単純な解説ではなく、本質的な理解を促すとともに、ペアワークなども増やしていくことで、様々な課題に主体的に取り組む姿をはぐくみ、深い学びにつなげていきたい。
発展数学D	授業そのもの、授業に対しての取り組みは概ね良好な回答である。今後も演習を継続していくが、単純な解説ではなく、本質的な理解を促すとともに、ペアワークなども増やしていくことで、様々な課題に主体的に取り組む姿をはぐくみ、深い学びにつなげていきたい。
発展数学 $\alpha\beta$	授業そのもの、授業に対しての取り組みは概ね良好な回答である。今後も演習を継続していくが、単純な解説ではなく、本質的な理解を促すとともに、ペアワークなども増やしていくことで、様々な課題に主体的に取り組む姿をはぐくみ、深い学びにつなげていきたい。
探究化学Ⅱ	前期と大きな変化は認められないが、扱う分野に身近なものが多くなり「もっと科目の内容に触れてみたい」と感じる生徒が増えた。2年次で2単位だったのが3年時で5単位になるバランスの悪さや、後期中間まで教科書の内容が終わらないことに不満・不安を持つ生徒がいることから教育課程なども含めて改善の方策を検討したい。
探究物理Ⅱ	授業の進捗・レベルや生徒の関心や意欲などは比較的良好な意見が多く、授業に集中して取り組んでいる。理解が十分でなかったり、試験や演習で苦労している生徒もおり、丁寧な説明や理解が深まるような展開を心掛けたい。また、先端科学の内容を含め、高度な内容を扱う授業も心掛けたい。
探究生物Ⅱ	生徒の意欲、授業の進捗・レベルなどは比較的良好な意見が多かった。授業中の様子を見ても、多くの生徒が集中して取り組んでいる。進捗との関係で実験・観察の回数には限りがあるが、できる限り多くの実体験ができるよう工夫したい。今後は少し難しいと感じるような分野や先端科学の内容を含め、高度な内容を扱う授業も心掛けたい。
探究自然科学Ⅱ 物理基礎	授業の進捗も適当であり、生徒の意欲も高いという意見が多い。個々の理解度には差があるため、それぞれの状況や目標に合わせた授業展開や演習問題などを工夫して進めていきたい。
探究自然科学Ⅱ 化学基礎	進捗や理解度、化学に対する関心など概ね良好な意見だった。授業の様子も積極的に取り組む姿が見られた。しかし応用的な問題に対する抵抗感があるように感じるため、難易度の高い内容にも臆さず取り組ませるように心がけたい。
探究自然科学Ⅱ 生物基礎	質問項目全般で概ね良好な結果であった。実験やICTの活用などを通じてより関心を持たせる授業を心掛けたい。来年度に向けてグループワークなども必要に応じて取り入れながら工夫をしていきたい。
探究自然科学Ⅱ 地学基礎	学習への取り組みはおおむね良好であった。地学の学習内容に関心の高い生徒も少なくないが、問題演習やグループ学習の時間を増やすなど、生徒の学習意欲がさらに増すように授業を工夫したい。
体育	後期においても男女共修選択制授業を実施した。これまでの取り組みを基本に、リーダーを中心としたメンバーとの協力の中で、活発な生徒主体の取り組みができた。技能向上の楽しさを味わいながら、卒業後の生涯体育につながる力を身に付けることができたと感じる。
英語コミュニケーションⅢ	昨年までの流れもあり、予習・復習が習慣化しており、授業に臨む態度が育成されている。ほとんどの生徒が授業に集中して受けることができしており、授業進捗や難易度も適切であると肯定的に捉えている。3年間を通して、グループワークやディスカッションで既習の知識を駆使して積極的に授業に参加してきており、主体的学習者としての素養が身についた。
発展論理・表現Ⅲ 応用論理・表現Ⅲ	授業を集中して受けることができしており、家庭学習もしっかり習慣化されている。ペアやグループで行ったディスカッション等にも意欲的に参加し、思考力や表現力の向上に努めていた。テストなどで出題されるエッセイライティングにほぼすべての生徒が解答をしており、書く力の向上も計れたと感じている。
【選】 探究社会科学B	授業に集中して取り組むことや授業の難易度、授業進捗に関して肯定的な回答が多い。また、授業に対する興味・関心も高く、授業内容にもっと触れてみたいと感じている生徒も多い。今後は知識の定着だけにとどまらず、既有知識を使って課題解決にむけて協議・討論するような授業に取り組むたい。
【選】 プログラミング実践	少人数の選択授業であり、生徒の状況は様々で、個々に応じた丁寧な指導ができてはいるが、「情報」が苦手な生徒の興味関心を高め、能力を向上させることは十分ではない。演習、実習を通して理解度を高める機会を多く持ち、その課題を解決したい。
【選】 美術研究	選択者が1人なので、生徒に寄り添った授業ができた。授業難易度がやや難しいと回答があったが大学の実技の対策も授業の中に入っているのでもっと難しく感じる部分もあるのかもしれない。今後は美術の視野が広がる授業になるよう工夫していきたい。